

科目名	公民 現代社会	使用教材	教科書：「現代社会」 (東京書籍) 副教材現代社会用語集 (山川出版社)
単位数	1年次：2単位必修 ベーシックコース (前期のみ)	評価方法	定期考査・小テスト 授業への取り組みの様子 (参加の仕方・忘れ物など) 提出物 (課題・プリント・ノートなど)

学習到達目標

- ◆広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題を主体的に考え、公正に判断するとともに自ら人間としてのあり方生き方について考える能力を養い、良識ある公民として必要な能力を身につける。
- ◆身の回りの社会現象や自分自身が生活している社会で起こっている問題について感心を持ち、自分なりの考えを持つことで、よりよい社会を築こうという前向きな姿勢と主体的な生き方を目指す。
- ◆自分自身の考えを持ち、それを文章や言葉で表現する自己表現力を高める。

★授業について

授業では教科書の内容だけでなく、最近話題になっている出来事やニュースなども取り上げます。黒板には最低限必要な事柄をまとめて書きますので、それを写すだけでなく、先生が話した内容などもメモしながら聞くようにしましょう。聞いたり、見たりした内容についてまとめる (要約) 力も重要です。

また、授業ではグループでの話し合いや発表の場を多く取り入れます。積極的に参加しましょう。

★自主学習について

◆新聞を読もう！

現代社会の内容は、現代社会に見られる課題が題材です。したがって、教室での知識も大事ですが、新聞・テレビなどのような生きた知識がより大切になる科目です。自分の身の回りのことからよいので、まずは社会に関心をもってもらいたいと思います。そして、「なぜ?」「私は・・・と思う。」という意識を日頃から持つように心がけてください。授業では毎時間、時事問題について触れます。自分の意見が言えるようにしておきましょう。

◆ 予習

次の時間に学習する範囲の教科書のページを読んでおくこと。そして分からないことがあれば、用語集などで調べておくようにしましょう。

◆ 復習

復習とは授業で学んだ事柄を忘れないうちに確認する作業です。授業中に説明した用語の意味について、正しく理解し、基本的な語句や重要語句は暗記しましょう。現代社会で出てくる用語は一般常識としても必要な語句が多く含まれています。今後、進学や就職においても必要な知識となりますので、丁寧に復習しましょう。

評価について

◆ 評価の対象

- ①定期考査 ②授業への取り組み方 ③提出物

◆ 評価の観点

- ① 各単元の基本的知識の定着を授業・考査を通じて評価します (知識・理解)
- ② 授業に対する意欲、姿勢を観ます。その際、発言・質問・積極的な回答などがあれば加点し、居眠り・私語などは減点します。(関心・意欲・態度)
- ③ ノート・課題レポート・プリントなどの提出状況とその内容 (思考・判断)

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

月	週	月日	単元	目標	学習の要点
			第1章:現代の社会生活と青年 1 現代社会の特質と私たちの生活 ①大衆の時代 ②情報化の進展と生活 ③国際化の中の人間 ④少子・高齢化社会をむかえて	現代社会の様々な問題について、自己との関わりを考える 現代社会に対する関心を高め、いかに生きるか主体的に考える ●地球環境問題 ●資源・エネルギー問題 ●科学技術の発達と生命の問題 ●豊かな生活と福祉社会	◆聞く姿勢・話す姿勢を確認する ◆家庭学習の方法を覚え、毎日継続する グループ討議・ディベート ◆家庭基礎(関連)
			2 現代社会と青年の生き方 ①青年であること ②社会とのつながり ③生きがいと進路の創造	青年期の意義と課題を理解する 自立して生きることのできる主体の形成が自己の課題であることを理解する ●生きがいとは何かを考える	*他者と共に生きる自己の生き方について考える ◆チャイムでの切り替えを徹底する ◆提出物を出す時の決まりを覚える ◆家庭基礎(関連)
			3 よりよく生きることを求めて ①よく生きるということ ②近代科学の考え方 ③人間の尊厳 ④日本人のものの考え方 ⑤外来文化の受容と日本の伝統思想	人間としての在り方・生き方を考える 先哲の基本的考え方を参考に人間の存在や価値について考える ●人生における哲学・宗教・芸術のい ●日本文化の特徴を理解する	◆グループ討議の中で、自分の意見を言うことができる
			第2章:現代の経済と国民福祉 1 経済のしくみ ①技術革新と産業社会の変化 ②企業の働き ③市場経済のしくみ ④国民所得と経済成長	現代経済の基本的な仕組みについて内容を理解する 経済の発展や変動が私たちの生活とどのようにかわり、影響を与えているのかを理解する ●資本主義経済とは ●企業の種類と特徴 ●市場経済とは ●物価はどのように決まるのか ●国民所得とは	◆発表の仕方を確認し、覚える
			2 政府の経済的役割 ①市場と政府 ②財政と財政制度 ③金融の役割	市場経済のもとで、政府の経済的役割がどのように大きくなっていくのかを理解する ●財政と国民生活のかかわり ●税金はどのように使われるのか ●金融政策とは	◆クラス全員の前で発表することができる ◆租税教室(外部講師)
			3 変化する日本経済 ①高度経済成長 ②安定成長と産業構造の転換 ③経済のバブル化とその後 ④中小企業と農業 ⑤転機に経つ日本経済	戦後の日本経済の動きを知り、現代の経済の特徴を理解する ●戦後から現在までの日本経済 ●中小企業のあり方と問題点 ●日本の農業と食料自給 情報化と産業構造の変化について理解する	◆自主的に挙手し、発表することができる *人間にとっての豊かさやどういふものか、考えを深める。
			4 豊かな生活の実現 ①自立した消費者への道 ②公害の防止と環境保全 ③現代の雇用・労働問題 ④社会保障の役割	本間に豊かな社会とはどのような社会かを考察し、実現のためには賢い消費者であることや企業が社会的責任を果たすこと、政府の適切な対応や制度の充実が必要なことなどを理解する。 ●企業の社会的責任 ●現代の雇用問題 ●消費者保護とは ●公害の発生と防止 ●労働者の権利 ●社会保障制度	◆グループ討議の中で他の意見をまとめ、調整することができる *家庭基礎・消費者問題(関連)
			第3章:日本国憲法と民主政治 1 民主政治とは ①民主政治の原理 ②民主政治のしくみ ③世界の様々な政治体制	民主政治とはどのような政治であるかを理解する ●民主政治の理念 ●政治参加の意義 ●民主主義の根本原理 ●主要国の政治の特徴	*いろいろな考えや宗教、価値観を持った人々を理解しようとする姿勢 *民主的な学校・クラスをつくるにはどうしたらよいかを理解する ◆世界の国々について興味を持ち、良好な国際関係について考
			2 日本国憲法と基本的人権 ①日本国憲法と3つの原意 ②基本的人権の保障(1) ③基本的人権の保障(2) ④新しい人権と国際的広がり	日本国憲法の三大原則について理解する ●日本国憲法の成立(明治憲法との違い) 基本的人権の内容を理解する ●基本的人権とは 新しい人権が主張されるようになった背景と意味を理解する ●新しい人権とは	◆総合的な学習の時間・命の学習(関連) *自分を大切に、人を大切にという意識を持つ。
			3 国会・内閣・裁判所 ①国会と立法 ②内閣と行政 ③裁判所と法の支配	議会制民主主義における立法権・行政権・司法権について内容を理解する ●国会・内閣・裁判所の役割 ●裁判員制度の意義・目的	*なぜ、法律やきまりが必要なのか考え、理解する。 *
			4 政治参加と民主政治 ①選挙と政党政治 ②世論と政治参加 ③地方政治と地域社会 ④平和主義と安全保障 ⑤民主主義の理論と課題	民主政治を保障する選挙制度について理解する ●選挙と政党政治 世論・マスメディア・政治がどのように関連しているかを理解する ●行政の民主化と世論 地方政治の仕組み、政党政治の意義について理解する ●地方政治の現状と課題 ●日本国憲法における平和主義	*他者の意見を寛容な心で受け入れようとする *平和とは何か、平和を維持するために必要なことは何かを考える。
			第4章:国際社会と人類の課題 1 国境を越える経済 ①企業活動のグローバル化 ②国際経済のしくみ ③戦後国際経済の枠組みとその変化 ④対立と協調の時代 ⑤グローバル化する南の世界	・民主主義の本質について、多面的・多角的に考える ・国際的な視野を身につける ・政治・経済・国際関係などの本質や動向を探求し、客観的に理解する ・現代社会の問題について、望ましい解決のあり方について主体的に考える とともに、公正に判断する能力や健全な判断力を養う。 ・自らの個性を発揮しつつ、文化と福祉の向上や発展に役立てようとする ・国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現に向けて 主体的に参加、協力する態度を身につける	【調べ学習とプレゼンテーション】 ◆自分で課題を見つけ、意欲的に調べる ◆調べた内容を分かりやすくまとめ、発表することができる
			2 ボーダレス化の中の地域 ①地域経済統合の進展 ②変容するロシアとアジアの経済 ③多様化する南の世界	●地球環境問題 ●核兵器と軍縮 ●国際経済格差の是正と国際協力 ●経済摩擦と外交 ●人種・民族問題 ●国際社会における日本の立場と役割	
			3 国際社会の成立と戦後の動き ①国際社会の成り立ち ②国際紛争を避けるしくみ ③国際連合の現状と課題 ④東西対立とその後の世界	●人権 ●国家主権 ●我が国の安全保障と防衛	*他者や他国との関係を維持するために必要なことは何かを考える *自分にできることは何かを考え、行動をおこす
			4 国際社会の課題 ①核兵器と軍縮 ②環境・人口・食料問題 ③民族問題と紛争 ④国際社会と人権 ⑤地球人として一日本の役割		